

一般社団法人ソーシャルコーディネートかながわ

事業報告書

(平成 29 年 (2017 年) 4 月 1 日から平成 30 年 (2018 年) 3 月 31 日まで)

事業の総括

2017 年度は、当団体が掲げる 2 つの活動の柱「多様な主体による対話と協働の場づくり」と「市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進」を軸に、従来から進めている活動を深化させました。

神奈川県のご委託を受けておこなう「アドバイザー相談事業」は、市民活動相談に加え、県内の公設市民活動支援施設の職員研修会の企画・運営を県と協働で担い、支援センター職員間の相互研鑽・交流の場づくりに貢献しました。「NPO・企業・大学等のパートナーシップ支援事業」は、昨年度に続き県央エリアでの協働の場づくりをめざし、厚木市内での「パートナーシップミーティング」を県・厚木市と協働で開催しました。3 年目の受託となる「かながわコミュニティカレッジ」の運営では、ボランティア・NPO 活動に取り組む市民向けに年間 33 本の講座を開講し、延べ受講者は 1000 人を超えました。

自主事業としては、「NPO 事務支援カンファレンス講習会 (東日本会場)」を藤沢市内で開催しました。岡山NPOセンター・わかやまNPOセンターから講師を迎え、NPO 法人事務局セミナーの講師を担う予定の他の組織方々と共に、講師登壇するために必要な情報を共有しました。

また、非営利組織評価センター (JCNE) と協力して「NPO 法人・一般社団・財団法人のための半日セミナー【団体の運営状況を自己診断しよう】」を開催しました。県内で活動する NPO 法人や一般社団法人の理事・スタッフの方に参加いただき、NPO に組織評価が求められる背景や、JCNE が提供する「第三者組織評価」の仕組み、基礎評価 23 項目の具体的な内容など話を聞いた後、参加者同士で意見交換をして、自団体の自己診断ワークに取り組みました。

各々の事業活動の詳細と成果は次葉以降を参照ください。

当団体は、2008 年の団体発足から今年で 10 年目を迎えました。この間に少しずつ活動の幅を広げ、共に事業活動を行う様々な主体との信頼関係を築き、団体としての組織基盤を作ってきました。他方、私たちを取り巻く環境は常に変化し、「社会的な課題の解決の可能性を拓き、豊かで自立した地域社会づくりに貢献する」というミッションを掲げた私たちが役割を十分に果たすために、私たち自身も変化し続ける必要があります。組織として大事にする価値を明確にしながら、柔軟に事業活動を進められるよう、今後 2020 年度に向け、当団体のあり方 (活動方針、組織体制) を見直すための検討を始めます。

1 多様な主体による対話と協働の場づくり

(1) NPO・企業・大学等のパートナーシップ支援

神奈川県では、NPO や企業、大学など、多様な主体が協働・連携し、複雑・多様化する地域課題の解決を図る社会づくりを進めています。当団体は 2008 年の団体発足時より、県が推進する「NPO と企業等の協働」に向けた各種事業の企画や運営・広報などに協力し、多様な主体による協働・連携を進める環境づくりに貢献してきました。

2017 年度は県及び厚木市と協働して、「企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 県央・神奈川」を厚木市内のアミューあつぎで開催しました。

○タイトル：企業・NPO・大学パートナーシップミーティング in 県央・神奈川

○日 時：2017 年 11 月 21 日（火）13:00~17:00

○場 所：アミューあつぎ 7 階 ミュージックルーム 1（厚木市中町）

○参加者：28 名

○プログラム：

ーパートナーシップ支援事業の紹介（神奈川県）

ートークセッション「多様なステークホルダーの巻き込みかた」

原 大祐氏（NPO 法人西湘をあそぶ会 代表理事）

高見 利和氏（新しい二宮・イメージづくりプロジェクト 代表）

和田 精二氏（NPO 法人湘南遺産プロジェクト 副代表）

ーテーブルミーティング「協働して新たなモノ・コトを創り出そう！」

ー交流タイム

（プログラム終了後に任意参加で交流会を実施）

○成 果：

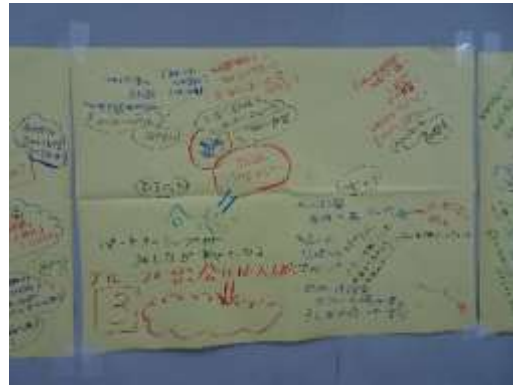
- ・ 「厚木市でのパートナーシップミーティング開催を支援し、県央地域で企業やNPO、関係自治体等のパートナーシップへの理解・関心・行動を促す」という目標をもって事業を進めました。当日はバランスの良い人数構成で、登壇者への質問も多く、ミーティングは活発に進みました。初めて開催する場所ということで、トークセッションのコーディネーターが協働に向けての心構えを丁寧に伝え、後半のテーブルミーティングでは、各テーブルに入ったファシリテーターが、マッチングに向けてお互いのできることを具体的に話す環境を作りました。
- ・ 参加者アンケートから「他社・他団体について知ることができた」(42.8%)、「参考になる連携アイデアが得られた」(23.8%)という回答が得られ、ミーティングの目的とした、多様な主体の出会いと連携のきっかけを作る場とすることができ、協働への理解、関心が深まったと思われます。

○今後に向けて：

- ・ 自治体と協力して企画段階からミーティング準備を共に進めたプロセスは、パートナーシップミーティングの地域開催の一つの形として構築しつつあります。今後は、開催後のマッチングサポート体制を見据えた協力関係の構築が課題です



パートナーシップミーティングの様子



テーブルミーティングのメモ

(2) 市民団体・民間非営利組織（NPO）の協働力の向上

地域の様々な課題解決に向け、市民団体・NPOが活動基盤を強化し、他の主体と協働・連携して活動に取り組む力をつけるための支援事業を行いました。

(1) アドバイザー相談事業（かながわ県民活動サポートセンターと協働事業）

県の委託を受け「アドバイザー相談事業」の運営を始めて6年目となります。県民活動サポートセンター9階の「ボランティア活動相談窓口」にアドバイザーを交代で配置し、2017年4月1日から2018年3月31日まで、毎週火曜～土曜の12時～17時、来訪・電話・メールによる市民、非営利組織、企業の方からの相談に対応しました。

相談件数は年間486件となり、前年度に比べ件数は減っていますが（2016年度は549件）、テーマ相談、セミナー付き相談、出張相談など企画相談会を充実させ、幅広い相談ニーズに対応しました。また、相談員の相談対応力を向上させるため、隔月で相談員会議をもち、相談対応事例の共有を行いました。

さらに、県内の市民活動支援施設の支援力向上をめざし、支援施設のスタッフ研修会、施設長会議（CEOミーティング）を県と協働で企画・開催しました。

○テーマ相談の実施

「NPO法人の設立・運営」に関する特別相談会を毎月開催した他、「NPO法人の会計・税務」に関する相談対応を充実させました。相談対応は、当団体所属のアドバイザーに加え、NPO法人税理士による公益活動サポートセンター、日本政策金融公庫の協力を仰ぎました。テーマ相談の対応件数は年間33件でした。

○セミナー付き相談の実施

小規模なセミナーと参加者からの相談対応をセットにした相談会を2回開催しました。

平成30年2月20日「会計・決算報告の準備」（講師：東樹康雅）

平成30年3月20日「NPO運営、事業総括・報告の準備」（講師：手塚明美）

○出張相談の実施

相談対応の一環として、当団体アドバイザーが県内 3 か所へ出張し、市町支援施設と連携して市民団体向けの個別相談会を設けました。出張先では、当地の市民活動センターの職員の方々にも陪席をお願いし、相談対応の実例を学んでいただく機会を提供しました。

- ・あいかわ町民活動サポートセンター
日程：平成 29 年 9 月 20 日（水）
相談従事者：2 名、相談件数：4 件、陪席スタッフ 2 名
- ・座間市市民活動サポートセンター
日程；平成 29 年 10 月 27 日（金）
相談従事者：2 名、相談件数：4 件、陪席スタッフ 6 名
- ・おだわら市民交流センターUMECO
日程：平成 30 年 2 月 22 日（木）
相談従事者：2 名、相談件数：3 件、陪席スタッフ 2 名

○支援センター職員のインターン受入れ

県内の市民活動支援施設における相談対応力向上をめざし、希望する支援施設・団体より、かながわ県民活動サポートセンターの相談コーナーに職員インターンを受け入れました。（年間で 5 施設から計 14 名の職員を受入れ。）実際の相談対応の場に陪席し、さらに当団体のアドバイザーと様々な情報交換をすることで、相談対応業務の実例を学んでいただきました。

参加支援施設：座間市市民活動サポートセンター
鎌倉市市民活動センター
とつか区民活動センター
秦野市市民活動サポートセンター
ひらつか市民活動センター

○支援センター研修会等の開催

県内の公設市民活動支援施設の職員研修会の企画・運営を県と協働で担い、支援センター職員間の相互研鑽・交流の場づくりに貢献しました。

- タイトル：平成 29 年度ボランティア活動支援施設スタッフセミナー
- 日 時：平成 29 年 7 月 3 日（月）13 時～17 時
- 場 所：かながわ県民センター11階 かながわコミュニティカレッジ講義室
- 参加者：42 名
- プログラム：
 - 1) レクチャー・対談
「改めて考えよう～地域における市民活動サポートセンターの役割」
講師：水澤 弘子さん（さがみはら市民活動サポートセンター 総括責任者）
手塚 明美さん（藤沢市市民活動推進センター 元センター長／
逗子文化プラザ市民交流センター センター長）

2) 話題提供 (NPO 事務支援カンファレンス参加報告)

報告者：細矢 岳彦さん (藤沢市市民活動推進センター センター長)

藤江 憲子さん (逗子文化プラザ市民交流センター フロアマネージャー)

3) ワーク・討議「サポートセンターの役割と仕事について」

進行：藤井 京子 (ソーシャルコーディネーターかながわ 理事)

○タイトル：平成 29 年度ボランティア活動支援施設 CEO ミーティング

○日 時：平成 29 年 11 月 1 日 (水) 13 時～17 時

○場 所：かながわ県民センター11階 かながわコミュニティカレッジ講義室

○対 象：神奈川県内の公的支援の施設長や当該施設の所管課長

○参加者：24 名

○プログラム：

1) 講演「NPO を取り巻く環境の変化と NPO 支援のこれから」

講師：田尻佳史さん (認定 NPO 法人日本 NPO センター 特任理事)

2) グループに分かれて意見交換

事前に持ち寄ったテーマ (支援センターのあり方、支援内容、スタッフ育成など) に沿って、グループに分かれて各センターの取り組み状況や課題などについて情報共有・意見交換を行いました。



(2) NPO 事務支援カンファレンス講習会 (東日本会場) の開催 (認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構と協働)

2017 年 8 月 21 日 (月) 13:30～17:00、藤沢商工会館ミナパーク (503 会議室) にて、NPO 事務支援カンファレンス講習会 (東日本会場) を開催しました。

当日は、NPO 法人事務局セミナーの講師として話をされる予定の方、その意欲のある方が会場参加とオンライン参加でつながり、岡山 NPO センター 加藤彰子さん、わかやま NPO センター 志場久起さんを講師に迎えて、NPO 法人事務局セミナーの講師として登壇するために必要な情報を共有しました。講習会終了後は、短い時間のなかでセミナー資料改訂の必要性などについて、参加者で意見交換をしました。

本講習会は、会場確保、運営支援など認定 NPO 法人藤沢市民活動推進機構の協力を得て開催しています。

(3) NPO 法人・一般社団・財団法人のための半日セミナー【団体の運営状況を自己

診断しよう】の開催（非営利組織評価センター（JCNE）に協力）

2017年12月8日（金）14時～17時、かながわ県民センターにて、NPO法人・一般社団・財団法人のための半日セミナー【団体の運営状況を自己診断しよう】を開催しました。

当日は、県内で活動するNPO法人や一般社団法人の理事・スタッフなど11名が参加し、非営利組織評価センター業務執行理事 山田泰久さんを講師に迎えて、NPOを取り巻く環境や、NPOに組織評価が求められる背景などの話を聴きました。さらに、非営利組織評価センター（JCNE）が提供する「第三者組織評価」の仕組みや、基礎評価23項目の具体的な内容について説明を受けた後、参加者同士で意見交換をして、各自で自分の団体の自己診断ワークに取り組みました。



(4) ソーシャルビジネスことはじめ～あなたの想いを事業化するプラン作成セミナー

（日本政策金融公庫に協力）

2018年2月13日（火）14時～17時、日本政策金融公庫 横浜支店にて、NPOやソーシャルビジネス事業者の方を対象に、「ソーシャルビジネスことはじめ～あなたの想いを事業化するプラン作成セミナー」を開催しました（日本政策金融公庫 国民生活事業、神奈川県と共催）。

当日の参加者は17名で、中小企業診断士で株式会社フォワード・グッド代表取締役 原 賢治 さんを講師に迎えて、経営に必要な知識やプロモーション戦略、計画の進捗管理手法等を具体的な事業計画書の事例を通して学びました。所どころワークショップを加えることで、参加者同士の交流も深まる講座となりました。



(5) 県域の中間支援組織としての仲介活動・提案活動

認定 NPO 法人日本 NPO センターの依頼を受け、明治ホールディングス株式会社株主優待で寄贈されるお菓子の寄贈先として、「障がいのある子どもを支援する活動」または「広域避難者を支援する活動」をおこなう県内の 8 団体を推薦し、同団体にお菓子が届く手配をしました。寄贈先の選定、配送手配にあたっては県内の 5 つの NPO 支援センター（小田原、茅ヶ崎、藤沢、座間、大和）のご協力を得ました。

寄贈先団体：NPO 法人アール・ド・ヴィーブル／NPO 法人サポートハウス ワン・ピース／NPO 法人フェアネット／大和市肢体不自由児者父母の会／フリースペース宝島／ゆいま〜る／ぶれジョブちがさき・さむかわ／福島の子どもたちとともに・湘南の会

(6) 講師・委員の派遣

自治体や各地の支援組織、NPO などの依頼に応じてセミナー・研修会・会議への講師・アドバイザー等の派遣を行いました。

【講師・委員・アドバイザーなど派遣実績】

- ・ 川崎市指定 NPO 法人審査会委員 <2017 年度、藤枝>
- ・ かながわ人生 100 歳時代ネットワーク会議参加<2017 年度、手塚、藤枝>
- ・ 横浜市立大学国際総合科学部国際都市学系まちづくりコース授業
<2017 年 4 月、手塚>
- ・ 川崎市民活動センター 非営利組織のための支援サービス展示会出展
<2017 年 6 月、葉石、藤枝、仲村>
- ・ ボランティア参加導入研修（生活協同組合パルシステム神奈川ゆめコープ）
<2017 年 6 月、葉石、藤枝>
- ・ 北区協働担い手づくり研修 市民活動と資金～助成金の獲得に向けて～
（北区 NPO・ボランティアぷらざ）<2017 年 6 月、藤枝>
- ・ 北区協働担い手づくり研修 市民と行政の協働研修
（北区 NPO・ボランティアぷらざ）<2017 年 9 月、手塚>
- ・ 都筑区民活動センター縁ジンミーティング 2017～団体の課題！？解決の鍵は記録・会計・報告書！（都筑区民活動センター）<2017 年 9 月、藤枝>
- ・ スタッフ向け環境 NGO・NPO 能力強化研修「イベント集客・支援者獲得に役立つ情報発信を学ぼう！応援と共感が集まる WEB・SNS 活用プログラム」
（NPO 法人 NPO サポートセンター）
<2017 年 7 月～10 月、藤枝、西尾>
- ・ かながわ NGO 学びの会「NGO 活動のカナメとササエ～人材コーディネーター～」
（NPO 法人横浜 NGO 連絡ネットワーク）
<2017 年 11 月、手塚>
- ・ 協働のまちづくり研修会（愛川町）<2018 年 2 月、手塚>
- ・ 市民活動団体のための助成金セミナー（横浜市ボランティアセンター）
<2018 年 3 月、藤枝>
- ・ 助成金セミナー（鎌倉市市民活動センター）
<2018 年 3 月、藤井>

2 市民や企業による寄付・社会貢献活動への参加促進

(1) かながわコミュニティカレッジ事務局の運営 (かながわ県民活動サポートセンターより受託)

かながわコミュニティカレッジは神奈川県が開設する、地域で活動する県民の「学びの場」です。ボランティアや NPO など、地域課題の解決や地域の活性化に向けた活動に取り組む人づくりを支えています。当団体は、「平成 29 年度かながわコミュニティカレッジ運營業務」をかながわ県民活動サポートセンターより受託し、コミュニティカレッジの事務局を運営しました。

様々なテーマで年間計 33 講座と特別講座を開講し、講座の企画調整や広報・実施運営を行い、ボランティアや NPO 等の活動を行う個人・団体を支援しました。受講者数は延べ 1000 人を超え、講座修了生の割合は、全講座平均すると 8 割に達しています。

以下は全講座のうち当団体が企画実施した講座の一覧です。

【2017 年度コミカレ講座のうち当団体が企画実施した講座】

講座名称等	開催日程	受講者数
NPO 会計講座（基礎編） 協力：NPO 法人税理士のための公益活動サポートセンター	8/24～9/14 (全 4 回)	31
NPO 会計講座（実践編） 協力：NPO 法人税理士のための公益活動サポートセンター	10/13～10/27 (全 3 回)	32
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 1 法人の事務 （講師：笹子まさえさん）	8/1、8/8 (全 2 回)	14
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 2 団体のミッションと事業運営 （講師：手塚明美）	8/2、8/9 (全 2 回)	15
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 3 事業を企画する （講師：藤枝香織）	8/22、8/29 (全 2 回)	14
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 4 活動資金を確保する （講師：徳永洋子さん）	9/5、9/12 (全 2 回)	17
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 5 広報・発信力を高める （講師：イノウエヨシオさん）	9/20、9/27 (全 2 回)	22
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 6 事業活動を評価する （講師：今田克司さん）	10/10、10/17 (全 2 回)	17
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 7 地域に開かれた組織づくり （講師：後藤麻理子さん）	11/8、11/15 (全 2 回)	20
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 8 NPO 法人の組織運営 （講師：藤澤浩子さん）	11/17、11/24 (全 2 回)	20
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 9 会議・ワークショップの進め方 （講師：呉哲煥さん）	11/29 (全 1 回)	18
「200 分で学ぶ NPO 運営講座」 10 他組織との協働を進める （講師：手塚明美）	12/6 (全 1 回)	20

【特別講座】

講座名称等	開催日程	参加者数
地域支え合い講座（秦野会場） ～回想法とともに学ぼう「集いの場づくり講座」 【主催：神奈川県 / 共催：秦野市 / 実施協力団体：回想法プログラミング、（一社）ソーシャルコーディネートかながわ】	1/15～3/5 （全5回と 現場視察）	30
無料公開セミナー 「NPO・地域コミュニティとのかかわり方」 講師：藤枝香織（一社）ソーシャルコーディネートかながわ	3/10	22

(2)基金21協働事業への提案

当団体は、かながわボランティア活動推進基金21の協働事業として、「働く世代の地域社会参加を促進する事業」を提案しました。働く世代（主に30代～50代）が地域活動や社会的な活動に関心を持ち、働きながら個々人に合ったスタイルで地域に参加できるための環境づくりを進めることをめざし、県内の地域活動の情報やネットワークを有する当団体と、企業、大学、市町村とのネットワークを持つ県とが協働することで、就労層の地域社会参加を推進するための広報活動や互いの取組みの相乗効果を生み出すことができると考えました。

残念ながら当提案は採択されませんでした。働く世代が地域の活動やコミュニティとの接点を持つことができ、その人らしく地域社会に参画できる環境整備、仕組みづくりに向け、今後もチャレンジしていきます。

3 組織基盤の整備

(1)ホームページの改訂

ホームページの改訂作業は、昨年度に新しいホームページのテストサイトの構築まで進みました。今年度は、サイト構成の検討・確認、コンテンツの入れ替えなどを行い、10月より新しいホームページの運用を始めました。



新ホームページ画面の一部（活動報告アーカイブ）

以上